

# 地域の支え合いを促進 コミュニティカフェを通じて、

地域の住民同士の交流や仲間作りを目的とした「コミュニティカフェ」が全国で様々な形態で展開されており、現在約3万件ほどあるそうです。社団法人長寿社会文化協会(WAC)は、コミュニティカフェが地域で果たす役割に注目し、研究会を立ち上げています。

## コミュニティカフェって何？

コミュニティカフェ研究会は、東京タワーと芝増上寺の大門がすぐ目の前に見える日本女子会館内にある公益法人長寿社会文化協会(wonderful aging club: WAC)が事務局を運営しています。WACは少子高齢化が急速に進む中で、元気なシニア世代が中心になり、豊かで活力溢れる長寿社会を構築していくこと、1988年に設立された民間の高齢化問題に関する第一号の社团法人で、当事者であるシニアが自覚を持つて自立し、地域社会での仲間づくり・ネットワークづくりによる「地域コミュニティ」の再生を推進しています。

このコミュニティカフェの緩やかなネットワークによる情報の共有を目的に、2009年にコミュニティカフェ全国連絡会を開催しました。作家の落合恵子

また、地域におけるコミュニティカフェの機能や持続可能な運営モデルの研究も行っており、これまで通算19回の研究会を開催しています。例えば、かつて東洋一のマンモス団地と言われた高島平（東京都板橋区）で、居住者の35%以上を占める高齢者と近隣の大東文化大学と連携した「コミュニティカフェ・サマー」や、母親の7年間に渡る介護経験を経て、藤沢市で市民ファンドを中心の協力者をまとめて福祉マンションを建設し、1Fのスペースで運営するコミュニティカフェ「レストラン・オハナ」、多摩ニュータウン・永山団地の空き店舗で、地元野菜中

第17回コミュニティカフェ研究会の様子。コミュニティカフェをサポートする地域の拠点を「マザーカフェ」といい、その運営がテーマだった



## ● プロフィール『コミュニティカフェ研究会』

住 所 :	東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 1F
電 話 :	03-5405-1501 (事務局担当 星野)
W E B :	<a href="http://www.wac.or.jp">http://www.wac.or.jp</a>

入会資格 : コミュニティカフェに関心のある方ならどなたでも。メールアドレスを登録された方にコミュニティカフェの最新情報誌載の「コミュニティカフェマガジン」を毎月発送。

氏が登壇し、「いのちをつなげる」と題した記念講演を行いました。コミュニティカフェの草分けでもある新潟の常設型地域の茶の間「うちの実家」代表の河田佳子さんと、東京都港区で慶應大学と地域の商店街の協働による居場所「芝の家」を主宰する坂倉恭介さんを共同代表とし、全国からコミュニティカフェの主宰者、研究者、社協・自治体関係者ら180名余が参加するなど大盛況でした。

2回目は、昨年11月26日に東京赤坂の日本財团ビルにおいて、上野千鶴子さん（東京大学大学院教授）が「おひとりさま、だからつながる—新しいつながり方の作り方と作法」をテーマに基調講演し、「超高齢社会」という日本社会は、コミュニティカーフェエバクには考えられない。地域力をつけて市民が支え合うことが大切」と挨拶しました。参加者は250名以上に達し、地域におけるコミュニティカフェの着実な広がりを改めて実感しました。

ちが弱者になることをいかにして避けける社会をつくること」と相互に支えあう仕組みづくりの必要性を提起しました。田中尚輝WAC常務理事は「今後の日本の地域社会は、コミュニティカーフェエバクには考えられない。地域力をつけた市民が支え合うを得ない。その時代が来ているという現実を私たちに突き付けている。だとしたら私たちが考えなければいけないのが、私たちの着実な広がりを改めて実感しました。

## 2月14日にも研究会。是非ご参加を

毎回、終了後に講師の先生を囲んで懇親交流会（会費制）を開催しています。相談や名刺交換、新しい出会いなど、とても楽しく、地域のケアに取り組む方にとて有益な会です。お気軽にご参加ください。

また、事務局ではメールマガジンやブログ、WEBサイトでもコミュニティカフェを地域の拠点としている多様な事例を取り扱っています。全国のカフェの所在地がわかる全国コミュニティガイドマップ、関連書籍の販売、電話やメールによる開設相談も行っています。ぜひ、お問い合わせください。